

法事は、亡きひとを偲ぶ大切な時間  
そして私への「願い」を忘れてしまわないよう  
人性を軌道修正してくれる



ポスターのデータは  
ホームページに掲載しています

「あみださまにごあいさつ」を  
欠かさない暮らし

祖母といつも  
お仏壇に手を合わせていた

「あみださまは  
いつでもどこでも  
あなたと一緒にだよ」

それが祖母の口ぐせ

なぜって言われたら  
祖母が話してくれた  
あみださまの願いを忘れないため

そんな祖母も  
今はあみださまの世界に

その思い出が  
今の私を力強く  
支えてくれる

忙しい日々の中でも

行ってきます！

のびやかならば  
はなやかに  
生きている

いまもあたたかい「願い」の中に生きている

今年の夏はちゃんと  
お墓参りに帰ろう

子どもの頃  
学校帰りの寄り道は  
あたりまえだった

鬼のような母の姿が  
そこにあった

「大変なことをしてしまった」  
と後悔したとき

送り出す母の言葉は  
早く帰っておいでだった

ある日  
遊びに夢中で

気づいたら夜になっていた

「あみださまは  
どこにも  
あみださまの願いを忘れないため」

母の涙があった

送り出す母の「言葉」は  
私へのあたたかい「願い」であったと  
気づかされた



# いまもあたたかい「願い」の中に生きている



人生は思い通りにならないことの連続です。頑張っても報われるとは限らない社会。たくさんの人に囲まれているけれど、誰も私のことを分かってくれないという疎外感。誰にも頼れず自分ですべてを抱え込まなくてはならない孤独感。お釈迦さまの「人生は苦なり」の言葉が突き刺さります。

ただお釈迦さまは、思い通りにならない人生を、思い通りにしようとすることを勧められた訳ではありません。

「たとえあなたがどんな状況になったとしても、決して見捨てることなくあなたを支え、ともに生きていきます」と誓われたのが阿弥陀さまです。その誓いはお釈迦さまから親鸞聖人へ。そして私たちの先祖の方がたを通して祖父母や父母に、そして私に届けられています。お寺やお仏壇・お墓にお参りをする。それは、亡き人を通して、私にかけられた願い、そして私の生き方を支えてくださる阿弥陀さまに出会うための時間でもあります。亡き人は阿弥陀さまとともに私のあゆみを心配し、精一杯のやさしさを私を包んでくださっているのです。

